

港区立筭小学校  
平成30年度 授業改善推進プラン

教育目標

気づき 考え 進んで行く 筭の子ども

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

- ◇「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」の三本柱を重視し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫を行う。
- ◇各教科において、「自分の考えを修正したり深めたりしながら、より確かなものにする学習活動」となる指導法を工夫し、また、「自分の考えをもち、友達と学びあう児童」を目指し、話し合い活動を積極的に取り入れる。
- ◇個に応じた指導の充実を図るため、算数においてコース別習熟度別学習（第3学年以上）を行う。学習指導には、複数の指導者が関わるよう大学の現場実習生を活用するなどして充実に努める。
- ◇学習過程の評価、学力テストの結果などを分析し、児童の学力の実態を把握し、指導の改善に努める。
- ◇麻布図書館との連携により、図書館に学習センターとしての機能をもたせ、児童の自主的な課題解決の場とし、学習意欲を喚起する。また、全校一斉読書活動（朝読書）や「筭百選」の取り組み、読書週間の設定などにより、豊かな読書活動を進める。
- ◇電子黒板やデジタル教科書、タブレット端末など ICT 機器を活用した授業を全学年で計画的に実施し、児童が興味関心をもって学習に取り組むことができるようにする。
- ◇道徳教育の充実を図り、道徳の授業を中心にして、各教科、総合的な学習の時間、特別活動の特質に応じて、あいさつ運動など体験的な活動を取り入れて指導を展開していく。
- ◇「国際科」の充実実施を図り、コミュニケーション力を高め国際人としての資質向上を図る。

昨年度の成果と課題

- <成果>
- ◇各教科（特に算数）に自力解決の時間を確保し、ノート指導や話し合いの流れを統一することで、児童は自分の考えをもち表現することができ、話し合いも活発に行われた。
  - ◇各学年とも、積極的にデジタル教科書やタブレット端末など、I.C.T機器を活用した授業を展開できた。
  - ◇読書週間をはじめ、朝読書や筭百選などに取り組むことで、豊かな読書活動を推進できた。
  - ◇すべての学年で、鑑賞活動の充実を図り、地域の美術館などと積極的に連携してきた。
- <課題>
- ◇既習事項を生かしきれない児童もいることから、基礎基本を定着させるために繰り返し復習する必要がある。
  - ◇国際科の学習に苦手意識をもっている児童に対し、担任が修得内容を把握し、共通理解を図りながら支援する。
  - ◇発言力を高められるように、個人の考えをまとめた後、グループで意見交換をしてから発表する機会を設けるなど、児童が発言しやすい手順を工夫する。
  - ◇大縄・短縄・マラソンなどに取り組み、体力の向上を目指す。

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝読書を実施し、読書に親しむ時間を増やす。また、読書週間や筭百選の取り組みにより、読書活動を充実させる。</li> <li>○年15回、土曜日に授業を実施し、授業時数を確保する。</li> <li>○食育として1年生が給食の材料（皮むきなど）を準備する活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲体験的な学習活動、問題解決学習を重視し、積極的に授業改善に取り組む。</li> <li>○算数では習熟度別の少人数学習を実施し、個に応じた指導を行う。</li> <li>○SA・RASと連携し、理科学習・読書活動の充実を図る。</li> <li>○デジタル教科書やタブレット端末などのICT機器を活用し、児童の学習意欲の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆来年度の教科書改訂を見越し、評価規準を設定し、研究を深める。</li> <li>▲プレテストや小テストを有効活用する。</li> <li>▲児童による評価を有効に生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆研究テーマを「思考力を高める国語の授業づくり」とし、友達と学びあう場面を設定し、自分の考えをまとめることができるように児童の育成を図る。</li> <li>○高陵アカデミーの取り組みを充実させる。</li> <li>○OJTを充実させ、指導力や授業力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校公開の実施（土曜日・音楽会を含む）</li> <li>○学校の情報提供を充実させる。</li> <li>○高陵地区委員会と連携を深める。</li> <li>○学校評価を学校運営に生かす。</li> <li>○地域や関係諸機関と連携し、防災訓練を行う。</li> </ul>

具体的な取り組み

<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝読書は、毎週火曜日・木曜日に設定する。読書週間は、教師による読み聞かせ・給食には本に登場する料理を献立にするなど、読書への関心を高めた。</li> <li>○年15回、土曜授業を実施し、時数を確保しながら管理を徹底し、行事を精選する。</li> <li>○1学期中に、そら豆・枝豆・トウモロコシの皮むきなど1年生が行い、各クラスに食に対する思いを呼びかける活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○机上の学習だけではなく、様々な工夫をし自ら課題が見つかるような活動を取り入れている。</li> <li>▲既習事項を生かしきれない児童もいることから、基礎基本を定着させるためにスキルトレーニングなどを行う。</li> <li>☆国際科の学習に苦手意識のある児童に対し、担任が修得状況を把握し支援する体制を整える。</li> <li>▲補助運動でバランスを保つ運動や筋力を持続する運動を取り入れる。</li> <li>○ICT機器を有効活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆校内研究（国語）を中心に、新指導要領の改訂を踏まえた評価規準に基づき学習指導を実施する。</li> <li>▲プレテストや小テストを実施し、学力の定着を確認しながら指導を進める。</li> <li>○児童による自己評価・相互評価を取り入れ、授業での評価活動を工夫する。道徳・国際科は実施が校内で統一され定着している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆研究テーマにそって、自分の考えをもち、友達と学びあう子の育成を目指した授業づくりを研究する。</li> <li>○高陵アカデミーでは、幼小中合同研修会や連携の取り組み（子どもサミット、あいさつ運動など）を行う。</li> <li>○OJTを充実させるため、若手の授業の予定を周知し、指導力や授業力の向上を図る。</li> <li>▲発言力を高められるように、個人の考えをまとめた後、グループで意見交換をしてから発表する機会を設けるなど、児童が発言しやすい手順を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年3回、学校公開を実施する。（土曜日・音楽会を含む）</li> <li>▲学校だより、学年だより、ホームページなどにより、適宜適切に情報提供を行う。</li> <li>○高陵地区委員会と連携し、地域活動への参加協力をする。</li> <li>○教職員や学校評議員、保護者による年2回の学校評価を学校運営に生かす。</li> <li>○消防署や麻布支所、各町会と連携し、12月に防災訓練を行う。</li> </ul>
--	---	---	--	---